

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	<p>1 自治会組織への支援について</p> <p>2 「いじめ」「不登校」対策について</p>	<p>(1) 自治会組織への加入促進について</p> <p>ア 過去3か年間の加入率と加入世帯のメリット及び未加入世帯のデメリットは何か。</p> <p>イ 不動産事業者が賃貸等をする場合、入居予定者に自治会加入促進に協力をお願いするように、不動産事業者と協定締結はできないか。</p> <p>ウ 行政ができる自治会加入促進について見解を伺う。</p> <p>(2) 自治会と行政のつながりについて</p> <p>ア 地域担当職員制度の効果について</p> <p>イ 行政協力員（連絡員）の負担軽減について</p> <p>(3) 自治会の課題について</p> <p>ア 役員の担い手不足の支援策はないか。</p> <p>イ 自治会の再編・統合についての見解は。</p> <p>(1) 本市では、インターネットに対する情報モラル教育について、どのような取組をしているのか。</p> <p>(2) 全国・県・本市の小、中学校の「いじめ」認知件数の比較及び「いじめ」とみなしている基準はどのようなことなのか。「いじめ」の定義は何か。</p> <p>(3) 各学校の「いじめ」に対する取組状況及び相談窓口の対応体制を伺う。</p> <p>(4) 平成 25 年 6 月に「いじめ防止対策推進法」が公布された。市としての対応を伺う。</p> <p>(5) 全国・県・本市の「不登校者数」の比較を小、中学校別に示せ。</p> <p>(6) 「不登校」になる要因は何か。その対策と取組状況及び今後の方針を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	左近充 議員	<p>1 川内川に係る取水、水稲栽培について</p> <p>2 新庁舎建設について</p>	<p>(1) 来年度の水稲栽培はどうなるのか。</p> <p>(2) 新しい水源の確保は。</p> <p>(3) 取水口のセンサー式水門建設は。</p> <p>(4) 恒久的沈澱池の設置を。</p> <p>(1) 合併効果はいかほどか。</p> <p>(2) 菱刈支所の設置を。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	福本千枝子議員	<p>1 市長の考える新庁舎構想について</p> <p>2 各種事業の成果と今後について</p>	<p>平成 29 年 12 月議会において、人口減少により地方交付税も減少してくる中で、ヘッドクォーター「防災拠点」としての機能が必要になってくる、50 年あるいは 100 年に一度の事業だと説明をされた。現在「庁舎建設検討委員会」が立ち上がり協議され、「新庁舎建設基本構想案」が示された。そこで、</p> <p>(1) 新庁舎の構想をどのように描いているか。</p> <p>(2) 今後、基本設計そして平成 35 年度が工事完了の予定だが、進捗状況は。</p> <p>(3) 建設費としてどれ位見込むのか（基金・合併特例推進債等）。</p> <p>(4) 市民への公表はいつするのか、また、住民説明会もするのか。</p> <p>(1) 学生寮建設費用（4,000 万円）のうち 3 分の 2（2,460 万円）を市が補助し、学生寮が建設された。目的は公立の大口高校・伊佐農林高校の生徒数を確保するためであったが、平成 30 年度は男子 1 人の入寮である。今後、入寮促進をどうやっていくのか。</p> <p>(2) DMO「柵やさしいまち」は、国・さつま町・伊佐市の補助を受けて観光客誘致等に寄与するとあるが成果は上がっているのか、現在の活動状況について伺う。また、今回庁舎内で「野草・薬草を研究する会」が飛驒市を研修したが、成果はどうだったか。</p> <p>(3) 水辺もあり親子づれが楽しんでいた「轟公園」の遊具が解体された。何故撤去したのか。子どもたちが遊べる公園として復活できないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	1 地域連携DMO「㈱やさしいまち」と深く連携している伊佐市の立場として、趣旨の再確認について	<p>(1) 趣旨に沿った活動をどのように取組まれているか。また、進捗状況について伺う。</p> <p>(2) ホームページの補足的趣旨書に、「『世界一やさしいまち』の基準を満たした事業や夢は確実に実現します」とあるが、その基準とは何か具体的に示されたい。</p> <p>(3) 「㈱やさしいまち」が現在、課題としている点、また、近い将来具現化できる成果の報告又は相談を受けているか具体的に示されたい。</p> <p>(4) 伊佐市市街地に古民家を購入されたとの報告を受けたが、担当課で把握しているその目的と利用方法を示せ。</p> <p>(5) 平成 30 年 6 月議会においての一般質問の市長答弁で「収支等の開示できるところは開示していく」との答弁があったが、未だに 28 年度、29 年度のその部分が示されていないが、いつ、どのような形で示されるのか。</p> <p>(6) 先の 9 月議会において、附帯決議された案件「職員研修」は実施したのか、報告されるのはいつか。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	2 新庁舎建設について	<p>(1) 本体工事以外の考えられる費用の概略を類似団体の実績を参考に示されたい。</p> <p>(2) 現大口庁舎敷地を利用するとしたら、仮庁舎建設が必要だと考えるかどうか。また、その費用と移転費用の概略はどのくらいか。</p> <p>(3) 大口地区に新設するとなると土地の確保が必要と考えるが面積と金額を示されたい。</p> <p>(4) 合併浄化槽が必要となるが、何人槽でその設置費用はどのくらいか。また、来客、職員、公用車等の駐車場の確保はできるのか。費用面の試算を示されたい。</p> <p>(5) 菱刈地区の住民から支庁舎設置の要望を聞くが、その対応と維持管理費用はどうか。</p> <p>(6) 現在の花公園の購入の経緯と目的を再確認し、示されたい。</p> <p>(7) 現在の花公園の今後の利用展望と、その経費の見込み額を示せ。</p> <p>(8) 新庁舎の土地利用する場合、低地排水土木工事にかかる費用等の概要を示せ。</p> <p>(9) 花公園に建設するとなると北部集落排水を利用できるが、その集落排水会計に与える。影響は、どのように試算するか。</p> <p>(10) 庁舎機能の移転費用をどのように見込んでいるか。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	柿木原榮一議員	<p>1 旧大口図書館の解体について</p> <p>2 伊佐市の文化である農業・林業の民具の保管・保存について</p>	<p>(1) 旧大口図書館（旧伊佐市社会福祉協議会大口支部）の解体の予算が付き、近辺の家屋の調査も終わり、電柱の取り換えが終ったが、どのような経過になっているのか。これからの解体計画を伺う。</p> <p>(2) 過去の区画整理事業で行われた旧専念寺住職墓碑問題で近辺の方々と話合いが数回行われたが、話合いの結果を伺う。</p> <p>(3) 歴代住職墓碑を残すことに対して、地域住民に再々度お願いし、理解を得る考えはないのか。</p> <p>(4) 墓碑はどこに、移設する考えなのか。</p> <p>(5) 旧大口図書館付近の埋蔵文化財の発掘は検討できないか。</p> <p>(1) 旧大口図書館にあり、ふれあいセンターの4階にある農業・林業の民具の保管・保存状態について、どのようになっているのか。</p> <p>(2) 多くの市民の方々の、御厚意の寄附で集められた民具であったが、旧菱刈町の分の民具は無かったのか。</p> <p>(3) 修理の必要なものの民具もあろうかと思うが、全部収納は可能か。</p> <p>(4) ふれあいセンターの4階は、許可が無ければ見学できないが、これから自由に昔使用された民具を市民、観光客に見学させられる工夫はできないか。</p> <p>(5) 保管保全の場所をどのようにするのか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	柿木原榮一議員	3 伊佐市新庁舎建設 基本構想について	<p>(1) 新庁舎建設の基本的な考え方の基本方針の5つの基本方針の(4)環境負荷の少ない経済性の高い庁舎とあるが、研修に行った広島県庄原市で空調設備として、バイオマス発電で木のペレット燃料を使い、発電を空調に利用し、40%位維持管理費が減の見通しであるとの事であった。伊佐市は間伐材も多く、鶴田ダムに川内川の流域から流木材が沢山あるので、山林業の活性化になるし、原油の価格は国際情勢で不安定であると思うが検討はできないのか。</p> <p>(2) 新庁舎の機能で耐震安全性の目標とする耐震、制震、免震構造の比較から鉄筋コンクリート造、鉄骨・鉄筋コンクリート造が有利だと思うが、地域木材の使用の考え方、市有林の木材の活用をどう考えているのか。</p> <p>(3) 地元建設業者の関与をどのようにするのか。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	山下 和義議員	1 伊佐市医師会立准看護学校の支援について	<p>今、鹿児島県内に医師会立の准看護学校は2校しかない。その中の1校が伊佐市医師会立准看護学校である。この学校の生徒構成はこれまで新卒者より既卒者の方が多い状況である。既卒者の中には1回他の仕事に就かれてからもう一度人生設計を考えられ、この学校で資格を取り今後の人生に生かされていく方もいる。ただ、ここ数年生徒数の減少等により学校の維持が困難になりつつある。そこで、次の点について市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 生徒数確保のために伊佐市の広報等やホームページ等で生徒募集等を働きかけられないか。</p> <p>(2) 伊佐市のためこの准看護学校は必要であると思う。学校運営のため維持経費等の補助が出来ないか。</p> <p>(3) 資格を取得するため、他の自治体から伊佐市に住所を移しアパート等を借りて学校に通っている生徒に家賃等の補助が出来ないか。</p>	市長	
		2 北薩病院の医療体制の充実確保対策の取組について	<p>伊佐市における北薩病院は市民の安全・安心のためには欠かすことの出来ない病院である。市内の開業医の先生方も北薩病院の必要性を言われている。そこで、次のことについて市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 今の北薩病院のスタッフの状況（ドクター、看護師等）は。</p> <p>(2) 今不足している診療科の先生等の状況は。</p> <p>(3) 脳外科等の緊急の患者等は伊佐市外の病院の協力により、そちらに搬送されている現状である。脳外科医等の先生の派遣を鹿児島県に働きかけられないか。</p>	市長	
		3 伊佐市のこれから10年について	<p>【生まれて10年 このさき10年 「君と共に育つまち」】</p> <p>私は、この先10年を考えたとき、市長の伊佐市に対する残り2年の取組は、この先10年を左右する大切な期間になると思う。今後2年間にかける市長の決意を伺う。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	沖田 義一議員	<p>1 平成 31 年度水稻作付け等について</p> <p>2 光回線のエリア拡大について</p>	<p>(1) 硫黄山の噴火によって作付けできなかった水田のうち、別水系から取水できる面積は何%か。 ア 水系別についても伺う。 イ 今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 上記の別水系からも取水できない水田について伺いたい。 ア 30 年度と同じように飼料等を作るのか。 イ 31 年度は川内川から取水し、稲作をするということは検討できないのか。もし、作付けをしたらその対策は。 ウ 作付け後、硫黄山の爆発等があっても、水田にヒ素等の有害物質等が流れ込まない対策が必要であるがどうか。</p> <p>(1) 全国の光回線のエリアカバー率は 90%以上といわれているが、伊佐市のエリアカバー率はいくらか。 (2) 伊佐市で光回線の利用ができる地域はどこか。 (3) 光回線と ADSL のメリット、デメリットについて伺う。 ア 速度について イ インターネットの安定性について ウ 基本料金、開通までの期間、電話料金等について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	武本 進一議員	1 日本版DMO「やさしいまち」の取組について	<p>(1) 平成 30 年 1 月に観光商談会に参加し、一般的な観光紹介だけではなく、体験型メニューの提案を行い、実績に繋げるための営業活動を実施したとあるが、具体的にはどのような成果があったのか。</p> <p>(2) 29 年度事業の中の大阪府下で伊佐・さつまの特産品を販売する物産展に市内の事業者等が参加されている。その効果をどう判断されているか。</p> <p>(3) プロモーションとして都市部の企業向けに伊佐・さつまエリアのプロモーションを行い、団体旅行が実現しているとあるが、参加された方々の反応は。また、曾木の滝公園内の外国語メニュー対応や外国人向けの免税システムの導入効果は。</p> <p>(4) 曾木の滝・大鶴湖を核として体験型観光の推進のため、グランドビジョンを作成しているが、(株)やさしいまち・伊佐市・さつま町・鹿児島県それぞれの取組状況について伺う。</p> <p>(5) モンベルフレンド会員とはどのような方々のウェブサイトか伺う。</p> <p>(6) 人材育成の中で 6 次産業化推進ということで、ビジネスマッチングツアーを実施している。「年商 10 億を叶える経営塾」伊佐市・さつま町でそれぞれ開催され若手事業者が参加し、好評のうちに終了したとある。これに参加された方々の反応、また当エリアの魅力の発掘、創出、商品開発等の状況は。</p> <p>(7) 川内川流域の観光マーケティング調査をしている。認知、宿泊状況、満足度等の調査を今後どのように生かしていくのか伺う。</p> <p>(8) 事業を補完するために(株)やさしいまちにおいて自己資本を投入している。それはどのような事業であるか。</p> <p>(9) この事業は平成 28 年度からの事業であるが、30 年度で終了するのか。今後の DMO の事業推進体制の確立と継続的なサポート体制はどうするのか。</p> <p>(10) 2020 年に自立する DMO になるためには、どのような対策が必要か。</p> <p>(11) (株)やさしいまちに対して市長の見解を伺う。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち11枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	武本 進一議員	2 高齢者運転免許証の自主返納について	<p>(1) 過去3年間の運転免許証自主返納者数を男女別で伺う。</p> <p>(2) 返納されたときの平均年齢及び返納しようと思った経緯は。</p> <p>(3) 高齢者の運転免許証自主返納に対する本市の支援内容はどのようなものがあるのか伺う。また、それについての有効期間はあるのか。</p> <p>(4) 運転免許証を自主返納したあと、買い物や病院などへ行く場合、経済的な負担を和らげるためにも更なる支援の充実を検討できないか。</p> <p>(5) 自主的に運転免許証を返納したいと思うようになっていただくには何が必要と考えるか、市長の見解を伺う。</p>	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	<p>1 AI タクシー実証運行の導入計画について</p> <p>2 伊佐市の公式 LINE@サービスの整備計画について</p> <p>3 伊佐市内全域へインターネット光回線の整備計画について</p>	<p>(1) 地域公共交通総合連携計画も策定から7年が経過し、人口減少や、高齢化が進む中、新たな交通手段として、注目される AI タクシーの実証運行の導入計画は示せないか。</p> <p>(1) 地方自治体公式 LINE@アプリを導入し、住民サービスの向上を目的に、住民向け情報、防災情報の発信など整備計画は示せないか。</p> <p>(1) 伊佐市内において、インターネット光回線の整備に地域格差が生じている、情報化社会において空き家対策など様々な分野で期待が持てる。整備計画は示せないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	谷山 大介議員	1 子ども医療費無料化について	(1) 乳幼児医療費助成制度について ア お金のあるなしで医療が受けられない状態をどのように考えているのか見解を伺う。 (2) 伊佐市人口ビジョン伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について ア 出生率を増やす大胆な政策への転換は無いか伺う。 イ 人口の社会増減を来年度までに 2015 年度より 100 人改善の目標を達成するために、どのような政策を考えているのか伺う。 (3) 子育て世代の人口流出対策について (4) ポピュリズムについて	市長	
		2 学校の空調設備設置について	(1) 学校の空調設備の設計について (2) 学校の空調設備の設置について	教育長	
		3 補正予算の小中学校の空調設備整備事業費について	(1) 今回の 12 月議会で出された補正予算の小・中学校の空調設備整備に関する 5 億 2,000 万円のうち、小学校費の工事請負費 361,044 千円及び中学校費の工事請負費 146,000 千円について伺う。	教育長	
		4 新庁舎建設問題について	(1) 建設の是非について (2) 検討委員会や伊佐市の伊佐市新庁舎建設基本構想について見解を伺う。	市長	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	<p>1 会計年度任用制度実施について</p> <p>2 国保について</p>	<p>(1) 昨年 5 月会計年度任用制度が国会で成立し、今年 8 月に総務省の事務処理マニュアル改訂版の通知が来ているが、平成 32 年 4 月からスタートする新制度について、準備状況を伺う。 ア 本市の職員数について、正規の職員、地方公務員法第 3 条第 3 項第 3 号、第 22 条第 5 項に該当する職員の現在の処遇について伺う。 イ 制度実施に当たって、非正規の職員全員の処遇について選別することになるが作業の進捗状況は。 ウ 新制度の問題点について エ 総務省通知はあくまで「助言」であり拘束性はない。地方自治を守るため、同一労働、同一賃金の立場で非正規の職員の身分が安定するよう、任用について進めていくべきではないか。</p> <p>(1) 基金に積み立てる 7,000 万円は加入者へ還元し、税額も引き下げるべきではないか。 (2) 全国知事会が要求している国の公費投入と国保引き下げについて。各世帯に同額が賦課される平等割、また家族が増えるほど加算される均等割の廃止について市長の見解を伺う。 (3) 水俣病の特別調整交付金が 29 年度から入っているが、水俣病罹患者の認定促進に取り組まないのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 30 年第 4 回定例会一般質問

平成 30 年 12 月 5 日・6 日・7 日

(15枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	<p>3 庁舎建設問題について</p> <p>4 伊佐米を守り、伊佐の農業を守る政策について</p>	<p>(1) 庁舎建設の是非について、合併特例債に固執して、拙速に庁舎建設に突き進むのは将来に大きな借金を残し、禍根を残すことになる。もっと慎重に検討を進めるべきではないのか。</p> <p>(2) 基本構想によると建設費用は 40 億円程度とのことだが、他市の状況から最終的に大きく膨らむことにならないか。交付税が削減されることが予想されるが、今後の財政状況や人口状況について市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 庁舎建設に大きな財政支出をすることよりも、農業など産業の振興や若者の就農対策など思い切って財政投入すべき事柄がほかにあるのではないかと。市民の願いがどこにあると考えるか。</p> <p>(1) 代替水源についての県の発表があり、農家に落胆や不安が広がっている。伊佐米を守るためにどのような対策を考えているのか。調査委託料 800 万円の用途について</p> <p>(2) ため池の整備などあらゆる方法を検討し、早急に代替水源により安心して稲作が再開できるよう手立てを尽くすべきではないのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	